

■メキシコ：2030年までに再生可能エネルギー比率が4倍以上に

国際再生可能エネルギー機関（IRENA）は2015年5月26日、メキシコにおける再生可能エネルギー開発に関する報告書を発表した。その中で、一次エネルギーにおける再生可能エネルギーの比率は2010年の4.4%から2030年に21%になるとしている。全発電電力量に占める再生可能エネルギー（風力、太陽光、水力、地熱、バイオマス）の比率は2030年に46%になるとしている。同国には、様々な種類の再生可能エネルギー資源が豊富にあることから、その開発をめぐって大規模な投資を誘致することが可能であるとしている。再生可能エネルギーの導入を拡大することにより、エネルギー供給の多様化とともに温室効果ガスの削減に寄与するとされている。計画が実現すると、2030年時点で、石炭需要は2010年比62%減、天然ガス需要は同21%減になるとしている。